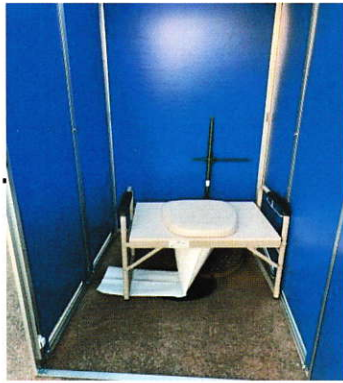




(写真㊷)

防災訓練実施報告 2022年



11月12日(土)、地域町内会・自治会の委員や区役所職員に加えて、アマチュア無線の専門家など約70名が参加して防災訓練を行いました。

今年は、冬季の夕方以降に大地震が発生した前提で、停電時の発電機による電力の確保や、灯油備蓄による寒さ対策を中心とした訓練を計画し実行しました。

防災訓練タイムライン

訓練前提	午後15時頃 横浜市で震度6弱の地震を観測。鴨志田町の一部で火災発生し、電気・ガス・水道等のライフラインは使用できなく、電話等の通信インフラへのアクセスも困難な状況が発生している。			
時刻	庶務班	情報班	食料物資班	救出救護班
15:30	- 委員は家族の安否確認後、緑小に集合 - 正門の開錠し、委員の感染症チェック後、参集メンバーの確認 - 委員長は拠点本部の開設を宣言 (写真㊶)			
15:45	- 通信機器の確認 - 拠点開設幟の掲示	- 体育館の安全確認 - 避難者受付準備	- 校舎の安全確認 - インフラ使用確認	- 救出備品の用意 - 発電機・投光器の搬出
16:00	- 区本部への第1報(開設報告) - ボランティア受付設置	- 避難者の受付 - 避難所区割り	- 簡易トイレの組立(写真㊸) - かまど型炊飯器での炊出し準備(写真㊹)	- 民生委員に同行し要援護者の安否確認 - 要援護者の安否情報を本部に報告
16:15	- 体育館前に公衆電話設置し通話確認 - 体育館WiFiの動作確認	段ボールベットの搬入・組立(写真㊺)	緊急給水栓での給水訓練	
16:30	保健室に医療拠点用の夜間照明供給(発電機1台、投光器4台)	体育館内に簡易テントで「女性用更衣室」設営(写真㊻)	簡易トイレへの夜間照明供給(発電機1台、防水投光器2台)	や避難所の受入れ準備を行います。
16:45		避難所への夜間照明(発電機2台、投光器4台 写真㊼)	食料品配布訓練	
17:00	鴨志田緑小学校 杉山校長の総評			



【①避難所の開設】

委員は家族の安否確認をした後、緑小に集合し災害対策本部を開設し、避難所の受入れ準備を行います。写真㊶

【②避難者の受付】

感染症のチェック後、健康な方は避難所へ入室します。家族単位で十分な距離を確保して当面の生活を行います。共同作業に協力して頂きます。高齢者や乳幼児にいる家族は別の部屋を用意します。



【③避難所区割り作業】写真㊦

段ボールバットを組みたてパーティションを用意して、避難生活開始。
家族単位にスペースを割り当て、毛布・マットやランタン等が支給されます。
家族と家族の間隔は、最低1mを空けて割り当てられます。

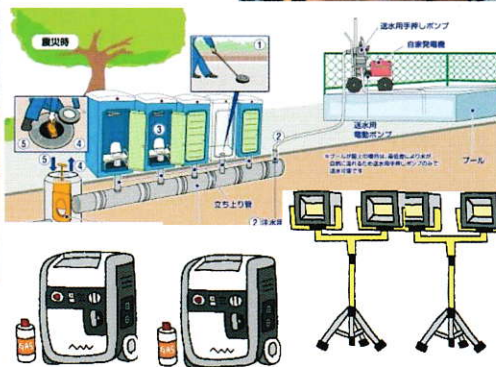
右写真は、簡易テントを利用した「女性用更衣室」を設置しました。同様に「授乳室」や「子供遊び場」及び「要援護者」のスペース確保も考えられます。

【④炊飯器での炊出し訓練】写真㊧

かまど型炊飯器「まかないくん」は、最大30キロ（約400杯分）を一度に炊く事で、汁物約330杯の調理も可能です。
但し、拠点では米・味噌等の食料品の備蓄は行いませんので、避難者の自宅からの拋出となります。



写真㊨



【⑤夜間照明】

拠点では停電時用に発電機11台と投光器11台を用意し、避難所・医療拠点や簡易トイレの夜間に備えています。

発電機の燃料は、ガソリンとカセットボンベを併用し、小学校の設備を借りて備蓄を行っています。

【⑥アマチュア無線非常通信協力会】

毎年の訓練には、アマチュア無線非常通信協力会や消防所及びケアプラザなどの団体様のアドバイスや参加を頂き実施が可能となっています。参加頂いた方々に厚く感謝をいたします。



拠点からのお知らせ

新しい拠点の「開設・運営マニュアル」が発行されました。
地域の自主防災組織に関係する方で、必要な方は自治会長経由でお知らせください。

